

日本フィルハーモニー交響楽団 東北の夢プロジェクト2021 楽しいオーケストラin岩手

～オーケストラ&バレエと 子どもたちの夢舞台～

第1部

- ◆ プラームス:
ハンガリー舞曲第1番
- ◆ J.シュトラウス二世:
トリッチ・トラッチ・ポルカ
- ◆ チャイコフスキー:
交響曲第5番より第4楽章

第2部

- ◆ チャイコフスキー:
バレエ《くるみ割り人形》
(日本フィル夏休みコンサート2021版)

第3部

- 《ゲストコーナー》
- ◆ 岩手県立宮古高等学校吹奏楽部
 - ◆ 気仙町けんか七夕太鼓
(陸前高田市立気仙小学校)

第4部

- 《みんなで楽しく体を動かそう!》
- ◆ 「鬼滅の刃」より《紅蓮華》～《炎》
 - ◆ 勇気100%
 - ◆ J.シュトラウスI世:ラデツキー行進曲

指揮:永峰 大輔
お話をうた:江原 陽子
バレエ:スターダンサーズ・バレエ団
バレエ振付・演出:鈴木 稔
管弦楽:
日本フィルハーモニー交響楽団

2021年7月22日 祝
午後2時30分開演 [午後1時45分開場]
岩手県民会館大ホール

料金 [全席指定・消費税込]

大人:3,000円 子供:1,500円 (子供=4歳~高校生)

※4歳未満は入場できません。チケットはお一人一枚ご用意ください。
※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

- ◆ 主催:文化庁/公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
- ◆ 共催:岩手県/岩手日報社/IBC岩手放送
- ◆ 後援:復興庁/岩手県文化振興事業団/
岩手県教育委員会/宮古市教育委員会/
陸前高田市教育委員会

お問い合わせ 岩手日報社事業部 019-653-4121
(土・日・祝除く 9:00~17:00)

新型コロナウイルス感染症対策への
ご理解とご協力をお願い

感染症対策を施し、政府や自治体等の
ガイドラインに従って販売いたします。
こちらのQRコードから「新型コロナウ
イルス感染症対策へのご理解とご協
力のお願い」を必ずお読み下さい。



◆ プレイガイド

5月27日
発売

- ・岩手県民会館
- ・ローソンチケット
0570-000-407 (オペレーター)
<http://l-tike.com> (Lコード:21604)
- ・日本フィルチケット
[席を選んでお申込みできます]
www.japanphil.or.jp
- ・岩手日報社事業部
- ・カワトク、アネックスカワトク、フェザン

東北地方の子どもたちの夢と笑顔、未来を応援したい-東北の夢プロジェクトは、被災地に音楽を届け続けてきた日本フィルハーモニー交響楽団が、新たに皆さんとともに創り上げていく「夢舞台」です。ゲスト団体は、岩手県の沿岸地域をリードする宮古高校吹奏楽部。コロナ禍において日本フィルとオンライン座談会を行うなど、新たな取り組みに共に挑戦してきました。そして、岩手県無形民俗文化財に指定され、約900年の歴史がある気仙町けんか七太鼓を受け継ぐ子どもたちです。一流のオーケストラとバレエの迫力あるステージ、そして子どもたちの真剣な眼差し、手に汗握る熱演に、ぜひご期待ください。



《指揮》 永峰 大輔 NAGAMINE Daisuke

1977年千葉県生まれ。洗足学園音楽大学附属指揮研究所を経て、ヴァイマル・フランク・リスト音楽大学、メクレンブルク・フォアポマーニ州立歌劇場にて研鑽を積む。2008年にはエリアザール・デ・カルヴァーリョ音楽祭に客演指揮者として招聘され、日伯移民100周年を記念する演奏会を指揮し絶賛を受けた。これまでに、日本フィルを始め、多数のオーケストラへ客演。2012年から2015年までは、神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者として、主催公演を含む年間20公演以上を指揮。2015年/16年シーズンには、NHK交響楽団首席指揮者パヴェロ・ヤルヴィのアシスタントを務めた。最近では2021年春のディズニー・オン・クラシック日本ツアーの指揮を任された。2011年にウクライナ、チェルニーヒフフィルハーモニー主催の指揮マスタークラスにて、最優秀指揮者賞である「ニコライ・パセーリビッチ賞」を受賞。2014年には米国ICW国際指揮コンクールにて最優秀指揮者に選出された。



《お話とうた》 江原 陽子 EBARA Yoko

東京藝術大学声楽科卒業。4歳より(公財)ソルフェージュスクールにてピアノを始め、ソルフェージュ、作曲、室内楽等音楽の基礎を同校で学ぶ。声楽を西原匡紀氏、後藤寿子氏に学ぶ。大学在学中より4年間、NHK「うたつて・ゴー」に「歌のおねえさん」としてレギュラー出演。1991年より日本フィルハーモニー交響楽団「夏休みコンサート」に歌と司会で出演する他、東京都交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団等の音楽鑑賞教室やコンサートで司会を務める等、クラシックコンサートのナビゲーターとしても活躍している。どんな人にもどんな時にも音楽をとノーマライゼーションの社会をつくるための福祉コンサートにも力を入れ、「美しい日本語の歌」を残す為のコンサートを積極的に展開。また「歌で親子のふれあいの時を」をテーマに、読み聞かせコンサートをする他、合唱団の指導、(財)ヤマハ音楽振興会の教材歌唱や講師への歌唱指導等、後進の指導にもあたっている。洗足学園音楽大学教授、(公財)ソルフェージュスクール講師。

スターダンサーズ・バレエ団 Star Dancers Ballet

太刀川瑠璃子を代表として1965年に創設。1981年に日本のバレエ団として初の財団法人化を果たした。創立当初からナショナルバレエの創造を活動の柱とし、日本人振付家による数々のオリジナル作品を生み出す一方、海外の優れた振付家の作品紹介にも力を注ぎ、古典から現代作品まで日本初演作品を含む世界水準のレパートリーを保持している。国内公演のほかドイツ、中国、韓国などでの海外公演の実績も多く、2019年にはパリのJapanExpoにおいてバレエ「ドラゴンクエスト」を上演し好評を博した。また、学校巡回公演やワークショップを通して子どもたちがバレエに触れる機会を幅広く提供しているほか、障がいのある方が気軽に鑑賞できるリラックスパフォーマンスや、パーキンソン病患者のためのダンスプログラムに取り組むなど、社会と広くかかわる活動も積極的に行っている。2020年に創立55周年を迎えた。



©Takashi Hiyama (A.I Co.,Ltd.)



岩手県立宮古高等学校 吹奏楽部

日本フィルハーモニー交響楽団 Japan Philharmonic Orchestra

1956年6月創設。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務める。2021年現在、日本フィルはその歴史と伝統を守りつつ、さらなる発展を目指し、「オーケストラ・コンサート」「リージョナル・アクティビティ」「エデュケーション・プログラム」という三つの柱で活動を行っている。首席指揮者ピエタリ・インキネン、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林研一郎、正指揮者山田和樹という充実した指揮者陣を中心に演奏会を行い、「音楽を通して文化を発信」している。2011年4月よりボランティア活動「被災地に音楽を」を開始。2021年1月に300回を数え、現在も継続中。40年を超えて続く九州全7県での九州公演、親子コンサート(夏休みコンサート)など、「人に寄り添う」「温かさ」の土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。毎週水曜日22:54~BS朝日のミニ番組『Welcome クラシック』出演中 <https://www.japanphil.or.jp>



気仙町けんか七太鼓 (陸前高田市立気仙小学校)